

令和8年度 津市立黒田小学校 学校経営の改革方針



学校教育目標 **自分が好き、友だちが好き、ふるさと黒田が好きな子**
 ～ 瞳を輝かせる黒田っ子の育成 ～

目指す学校像・子ども像

- よく学び よく働き よく遊ぶ 学校（児童像）
- やさしさときびしさのある 学校（教師・児童像）
- 地域保護者に信頼される 学校（学校像）

**「児童が主体的に学ぶ、
充実度の高い授業づくり」**
 ～子どもも教師も楽しめる授業～

- ・児童が主体的に取り組み、考えを深めるための指導方法の研究と、指導主事等による助言の活用
- ・授業での教師のコーディネート方法についての協議
- ・家庭学習の充実と学習習慣の定着に向けた指導
- ・指導知見をふりかえり、まとめることによる共有化

**「児童が安心して過ごすことのできる
学級づくり」**
 ～「ありがとう」があふれる学校～

- ・相手を尊重し、互いを認め合う学級集団づくり
- ・縦割り班等を活用した異学年交流の充実
- ・特別支援教育の視点を大切にした学級経営
- ・人権教育カリキュラムによる系統的な指導の推進
- ・架け橋プログラムによる保幼小連携の推進

**「地域に学び、地域とともに進める
学校づくり」**
 ～地域に感謝の気持ちを持つ子ども～

- ・ゲストティーチャーを活用した地域の「人・もの・こと」から学ぶ全学年での地域学習の推進
- ・学校運営協議会と地域学校協働本部の連携・協働体制の構築、新たな地域人材の発掘、地域資源の開拓
- ・学校だより、地域回覧等による学校教育活動の発信

**「いきいきと楽しく働ける職場
『チーム黒田』づくり」**
 ～子どもの話題がいっぱいの職員室～

- ・職員間で互いに迅速な報告、緊密な連絡、気軽な相談ができるような環境づくりおよび雰囲気
 - ・必要に応じて外部専門家を活用するなど、課題解決に向けての組織的対応を行う体制の構築
 - ・学年部等、複数で業務にあたる協力体制づくり
- （定時退校した教職員75%、60分以内の会議50%、時間外在校等時間年360時間および月45時間を超える教職員0人、時間外在校等時間月平均15時間以内、休暇取得前年より増）

